

令和2年度事業計画

令和2年の年明けは穏やかな天気恵まれ、オリンピック開催年の幕開けにふさわしいものと期待を膨らませるものでしたが、今や一転して中国発の新型コロナウイルス感染症の拡散が世界を震撼させる事態となりました。わが国では昨年の米中貿易摩擦や消費税導入の影響も最小限に抑え堅調な経済運営が続いていたところ、この見えない敵への対処に対する懸念から株価は暴落し、経済や暮らしの様々な分野で甚大な影響をもたらしています。高齢者福祉を担う和寿園も感染防止に最善の努力を傾注していますが、なお終息の見通しが立たないことから、今後社会福祉の分野においても強烈的なボディブローとなり、財務面で厳しい状況に追い込まれるのではないかと危惧しています。

とりわけ、わが国では「人生100年時代」といわれる超高齢社会を迎えようとしているなか、福祉を支える人材の不足は深刻さを増しており、団塊の世代が75歳を迎える2025年には約34万人、団塊ジュニアが65歳以上を迎え、介護を必要とする後期高齢者が爆発的に増加する2035年には約79万人の介護人材が不足するともいわれています。兵庫県内の一部の特別養護老人ホームにおいては、職員不足が理由で入所定員の一部を休止せざるを得ない事態に陥っています。（兵庫県老人福祉事業協会調査報告による。）

また、入居者及びご利用者が年々重度化傾向にあることから、事故発生リスク、一人当たりの介護時間が増加していることも否定できません。このため、目覚ましい技術革新をしているICT、IoT機器や介護ロボット等を活用し、ご利用者の安全・安心な生活の確保とともに、職員の負担軽減と働く環境改善につなげていきたいと考えます。

なお、社会福祉法人改革など諸般の情勢に鑑み、和寿園は今年度から理念、経営方針並びに職員行動指針を刷新します。気持ちを新たに、「和寿園だからできることがある」という自信と誇りを胸に、これまで培ってきた利用者本位のサービスの提供と、様々に変化していく地域のニーズに応えられる法人経営をめざして、本年度も次の重点項目に積極的に取り組みます。

重点項目

1 利用者本位で質の高いサービスの提供

(1) 利用者の人権と尊厳に配慮したサービスの提供

各地で発生している事件事故に鑑み、改めて利用者の人権と尊厳に配慮したサービスの提供を行うべく法人理念と経営方針、職員行動指針の徹底を図る。

(2) 安全安心なサービスの提供

事故防止、身体拘束廃止、感染防止など各部署を横断する委員会活動の活性化と対策の浸透を図る。特に経営にも直結する感染症対策に全力で取り組むこととする。

2 地域貢献の推進

(1) 地域サポート事業の拡大

見守りや配食サービスを中心とした地域サポート施設の取り組みのほか、丹波篠山市、市社会福祉協議会及び西部地域包括支援センターと意見交換会を行い、地域の要望や課題に合わせた事業に積極的に取り組む。

(2) 地域福祉人材の育成

介護職員初任者研修の開催に当たり、これまでの実績や課題、さらにアンケート結果を踏まえ

て内容の充実を図り、受講生の増加に努める。

(3) 居宅サービス事業の拡充

訪問介護事業所の人員補充に努め、利用者とサービスの拡大、充実を図る。

3 人材確保と人材育成

(1) 計画的な人材確保

定期的な学校訪問や就職説明会等に積極的に参加し、介護職員、看護職員等の採用につなげていくほか、定年年齢を 65 歳に延長する。

(2) 職員の資質向上

各階層にあった外部研修への参加を積極的に勧奨するとともに、内部研修の充実を図り、職員の資質の向上に努める。

4 働きがいのある職場づくり

(1) 目標管理、人事考課制度の改善

人事考課表の考課項目及び目標管理の難易度の見直しを行い、客観的かつ正当な評価により、職員の意欲、向上心を涵養する。

(2) 職員の処遇向上

地域内外の処遇や福利厚生に係る情報を収集し、処遇改善に向けた検討を行う。

(3) 働く環境の改善

10 か年計画の短期計画に位置付けている「介護ロボットの導入」に向け、展示会や研修会へ積極的に参加し、導入の計画案を作成する。

5 組織マネジメントの強化

(1) コンプライアンス経営の実践

法令順守を徹底するとともに、事業収支計算書等の経営状況や地域貢献事業等について、ホームページで積極的に情報開示を行う。

(2) 組織管理の強化

事務分掌及び職務と権限の適切な見直しを行い、公正で効率的な組織体制を確立する。

(3) 10 か年計画の見直しと実行

短期、中期計画の進捗状況を常に点検し、随時見直しを行って着実に実行する。

<p>【重点項目】 ①質の高いサービスを提供するため、人材の確保に努めます。 ②各部署との連携を強化し適正な法人経営に努めます。 ③3年毎に行う10か年計画の見直しを行います。</p>
--

	年度目標	具体的取り組み
1. 利用者に対する基本姿勢		
人権	理念に基づいた経営の推進	<p>【理念の浸透】 ・改められた理念について、全体研修会や各部署の事例検討会等を活用し浸透を図る</p>
サービスの質的向上	接客マナーの向上	<p>【周知】 ・接客マナーの重要性について、各部署の接客マナー委員が中心となり周知を図る</p>
		<p>【研修】 ・外部講師やPHPビデオライブラリーを活用し言葉づかい、接客マナー等の内部研修を行う</p>
2. 社会に対する基本姿勢		
社会への貢献	積極的な地域貢献	<p>【地域人材育成】 ・介護職員初任者研修を開講する</p>
		<p>【生活支援】 ・見守り、配食サービスによる支援を行う</p>
		<p>【地域交流】 ・地区福祉会議に参加し地域課題の情報収集を行う ・自治会等への出張講座を行う ・地域行事へ積極的に参加する ・認知症カフェ事業の実施に向けて検討する</p>
		<p>【福祉避難所】 ・災害時にスムーズに受け入れができるように職員に対し受け入れ準備について周知を図る</p>
3. 職員に対する基本姿勢		
人材育成	資質の向上	<p>【外部研修】 ・県社会福祉研修所、県老人福祉事業協会及び県社会福祉法人経営者協議会主催の研修情報を適時提供する</p>
		<p>【内部研修】 ・より多くの職員に学びの機会を設けるため、各部署が企画した研修を他部署に告知する</p>

人事 労務 管理	働きやすい環境の整備	【労務管理の徹底】 <ul style="list-style-type: none"> ・年休の個別管理を行い、法令に沿った取得の促進を図る ・時間外労働の上限規制を遵守するため個別チェックを行う
		【環境改善】 <ul style="list-style-type: none"> ・介護ロボット等の導入に向け、展示会への参加や他事業所からの情報収集を積極的に行う
	安定した人材確保と定着	【人材確保】 <ul style="list-style-type: none"> ・適正な人員を確保するために、各媒体等を有効に活用する ・採用に関する担当者を選任し、定期的に学校訪問を実施するとともに、就職セミナーや情報交換会等へ積極的に参加する
		【定着】 <ul style="list-style-type: none"> ・風通しを良くするため、各部署で意見交換の場を設ける ・手当等の処遇改善を随時検討する ・ストレスチェックを実施し対象職員へのフォローを行う
4. 事業活動に対する基本姿勢		
経営者の 役割遂行	事業運営の透明性の向上	【適正な運営】 <ul style="list-style-type: none"> ・法令に準拠した理事会、評議員会の運営を行う ・第三者委員会を開催する ・経理規程ほか各種規程を遵守した運営を行う
		【情報公開】 <ul style="list-style-type: none"> ・現況報告、決算関係書類、事業計画書、事業報告書、地域貢献事業等をホームページで公開する
財務 基盤	財務基盤の安定化	【新規事業、改修資金の積立】 <ul style="list-style-type: none"> ・今後の事業展開を見据えた積立を行うとともに、改修に備え累計減価償却費を確保する
		【コスト削減】 <ul style="list-style-type: none"> ・コスト削減委員会を中心に、水道光熱費や物品管理等のコスト削減への意識付けを行う

<p>【重点項目】</p> <p>① 介護サービスの質の向上と心温まる雰囲気をつくり、明るい生活の場を提供します。</p> <p>② 環境整備を常に心掛け、利用者が安心できる生活環境づくりと安全管理の徹底を図ります。</p> <p>③ 職員が地域貢献活動へ積極的に参加できるよう体制づくりをします。</p> <p>④ 積極的に研修に参加し人材の育成に努めます。</p>

	年度目標	具体的取り組み
1. 利用者に対する基本姿勢		
人権	理念に基づいたサービスの提供	<p>【意識付け】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サービス内容の変更を行うときは内容が理念に沿ったものになっているか問いかけを行い、理念の周知を図る
サービスの質的向上	看護、介護サービスの向上	<p>【看護面】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・嘱託医及び介護職員と連携を図り、利用者の体調の変化を早期に発見する ・グループ会議等で医療面の知識を介護職員に伝える
		<p>【ケアプランに沿ったサービスの提供】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・担当利用者にとってケアプランの内容に沿ったサービスが提供されているか確認を行う ・随時アセスメントを行い、グループ会議で情報の共有を行う
		<p>【介護技術の向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テーマを設けグループ会議等で介護技術研修を行う ・認知症の理解や対応力を高めるため認知症に関する外部研修に参加し、伝達研修を行う
	安全管理の徹底	<p>【事故防止】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事故委員会でヒヤリハット報告書をもとに防止策を検討する ・グループ会議を活用し危険予知トレーニングを行う
		<p>【感染防止】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消毒の徹底と、居室の整理整頓や空調管理・換気の徹底による衛生的な環境を保持する ・ノロウイルス、インフルエンザ予防及び感染対応の研修を行う
業務及び環境の改善		<p>【身体拘束虐待の防止】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「身体拘束防止に関する指針」について周知を図る
		<p>【防災】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年2回の避難訓練及び被災時の備蓄品の取り扱いの訓練を行う
		<p>【業務改善】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者に関わる時間を増やすために、グループ会議等で意見交換を行い、業務の見直しを行う
		<p>【環境改善】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゆとりある食事環境を提供するため、2階食堂レイアウト、時間差提供等の検討を行う ・プランターを活用し植栽を行う

2. 社会に対する基本姿勢		
社会への貢献	積極的な地域貢献への取り組み	【地域との交流】 ・地域の勉強会に講師等の派遣を行う ・地域のボランティア活動に積極的に参加する
		【講師派遣】 ・介護者教室、介護職員初任者研修へ講師を派遣する
		【困難・緊急ケースの対応】 ・重介護、緊急性の高い利用者を積極的に受け入れる
3. 職員に対する基本姿勢		
人材育成	中間管理職の育成	【OJT】 ・候補者を選定し、一人ひとりのスキルアップを図り、リーダーとしての役割の認識を深め、組織強化に努める。
		【研修】 ・PHP ビデオライブラリーを活用した内部研修を行う ・中堅職員、階層別等の外部研修に積極的に参加する
	職場内・外研修の充実	【研修計画】 ・県社会福祉研修所やその他の研修情報を収集し、職員に提供する ・各委員会による勉強会や伝達研修を定期的に開催する
人事労務管理	職場環境の改善	【環境改善等】 ・改善策等の意見交換ができる場を設ける ・負担の大きい業務の見直しを行う ・ストレスチェックを行う
	規則の周知	【方法】 ・グループ会議内で各種規程の周知を図る
	人事考課の精度向上	【研修、周知方法】 ・統一した評価を行うため、年2回考課者研修を開催する
4. 事業活動に対する基本姿勢		
財務基盤の安定化	入所・短期の稼働率 95%確保	【入所】 ・退院に向けて病院との連絡調整を適時行う
		【短期】 ・各事業所に空床ベッドの情報提供を行う
	コスト削減の徹底	【水道光熱費】 ・コスト削減委員会を中心に適正使用を周知徹底する
		【物品】 ・物品の在庫管理を徹底し、過剰在庫を削減する
取得可能な加算の算定	【算定予定の加算】 ・認知症ケア加算Ⅰの算定要件を満たすため、認知症介護実践リーダー研修へ参加する	

【重点項目】

- ① 利用者の意向や生きがいを大切に、個別性を重視したケアを行います。
- ② 地域の一員として、積極的に地域との交流を図ります。
- ③ さらなる人材育成を行い、質の高いサービスを提供します。

	年度目標	具体的取り組み
1. 利用者に対する基本姿勢		
人権	理念に基づいたサービスの実践	【ケアプラン】 ・アセスメント、モニタリングをもとにカンファレンスを行い、利用者がいきいきとした生活が送れるよう、処遇計画、介護保険サービスの計画を立てる
		【委員会】 ・身体拘束虐待防止委員会による啓発研修を行う ・接遇マナー委員会による啓発研修を行う
サービスの質的向上	看護、介護サービスの向上	【医療面】 ・医療機関、他部署との連絡、連携を行う ・ターミナルケアの充実のためにカンファレンスを開催する
		【ケアプランに沿ったサービス提供】 ・ケアプランの内容に沿ったサービスが提供されているか定期的に確認を行う ・カンファレンス後、訪問介護計画書、援助内容（手順書）を作成する ・サービス内容について周知に努める
		【介護技術の向上】 ・介護知識・技術の向上のため研修を行う ・ヘルパー会議の開催とヘルパー技術知識の向上のため研修を行う 【処遇の向上】 ・アクティビティ（レクリエーション・クラブ・外出）の機会を増やす
	安全管理の徹底	【事故防止】 ・事故件数の減少のためにヒヤリハット・事故報告書をもとに対応策を検討する ・危険予知トレーニングを行う ・防犯カメラを利用し、行方不明者の早期発見に努める 【感染防止】 ・ノロウイルス、インフルエンザ等の感染防止について研修を行う ・他部署や協力医院との連携を図る 【防災】 ・年2回避難訓練、消防訓練を行う

	業務、環境の改善	<p>【業務改善】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・整理整頓を行い、業務の効率化を図る ・業務検討委員会を開催する ・リーダー会議を開催する <p>【環境改善】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護ロボットの導入により、介護者の負担軽減につなげる ・設備の不具合等発生時の早期発見、早期対応する
2. 社会に対する基本姿勢		
社会への貢献	地域社会への貢献	<p>【地域との交流】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実習生の受け入れをする ・ボランティアの受け入れをする ・地域の行事に参加する
		<p>【緊急ショート】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・被虐待者、DV被害者の受け入れをする
		<p>【講師派遣】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護者教室・地域の勉強会・介護職員初任者研修等の講師を派遣する
3. 職員に対する基本姿勢		
人材育成	新人育成	<p>【担当者の育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新人育成研修計画を作成し実践する
	職員の資質向上	<p>【研修】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護職員初任者研修の講師をする ・年間研修計画を作成し、実践する ・他施設と交流し、情報交換の機会を持つ
人事労務管理	安全衛生に関する取り組みの充実	<p>【ストレス軽減】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個別に面談の時間を設ける ・ストレスチェックを実施する
		<p>【事故防止】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事故発生の要因となる危険箇所がないか随時見回りをする
		<p>【腰痛予防】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・腰痛体操、ラジオ体操等を実施する
4. 事業活動に対する基本姿勢		
財務基盤の安定化	養護の定員の確保	<p>【養護】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定員割れを最小限にするために各福祉事務所と連携する ・入院者数を増やさないよう利用者の健康保持に配慮する
	特定施設の増収	<p>【特定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護サービスが必要な利用者の選定及び適切な区分変更を行う ・利用者の状態に合わせて、ケアプランの見直しを行う
	訪問介護の増収	<p>【訪問】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・効率よくヘルパーを配置し、ケアマネから新規の話があれば早期に対応し、新規利用者の獲得に努める。 ・自費事業を積極的に受け入れる

<p>【重点項目】</p> <p>①集団処遇から個別処遇への取り組みを推進し、人権の尊重と自立支援の強化を図ります。</p> <p>②自立支援のため、地域の社会資源の活用を検討します。</p> <p>③職員の働く環境を整備し、意欲と資質の向上を図ります。</p> <p>④職務権限を明確にし、マネジメントの強化に努めます。</p>
--

	年度目標	具体的取り組み
1. 利用者に対する基本姿勢		
人権	理念の理解と実践	<p>【理念の定着】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・理念の唱和を行うとともに、各種会議で意味の周知といかに介護に活かしていくかを統一する
サービスの質的向上	更なる自立支援	<p>【自立支援の発展】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者一人一人にあった自立を支援するため、社会資源の開拓と活用を行う ・固定概念にとらわれない積極的な支援を実施するために、研修会に参加する
		<p>【自立支援の成果の確認】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日々のモニタリングをしっかりと行い、成果について関係者への周知と連携を行う
	認知症の理解	<p>【個別対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者一人一人の「役割」を大切にし、活力が湧く支援を行う
		<p>【病気としての理解】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会議内の学習で理解を深める ・認知症実践研修に1名参加する
<p>【事例検討】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎月の会議内で2名ずつの事例検討を行い、認知症の理解と対応の周知を図る ・視覚障害者の増加に伴いケアの方法を勉強する 		
関係機関との連携	<p>【個別対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知症利用者を積極的に受け入れる 	
	<p>【家族との信頼関係】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家族見学会を開催する ・満足度アンケートを実施する <p>【ケアマネージャーとの信頼関係】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者の状態について、細やかな報告・連絡と相談を行う ・見学会を開催する <p>【行政との連携】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンプライアンスのため運営についての不明点はその都度行政に確認し、良好な連携を維持する 	
2. 社会に対する基本姿勢		

社会への貢献	地域資源との関係強化	【各種学校等との交流】 ・富山こども園との交流事業を実施する ・積極的に実習生を受け入れる ・高校等へ福祉出前授業を提案する
		【地域支援】 ・高屋自治会清掃作業に参加する ・地域行事（福祉の日等）に参加する
		【介護教室等への講師派遣】 ・介護者教室、介護職員初任者研修で講師を担当する
3. 職員に対する基本姿勢		
人材育成	個人のスキルアップ	【資格取得支援等】 ・資格取得のための研修参加、年休取得の支援及び情報提供を行う ・介護技術研修等の外部研修へ参加する 【OJTの推進】 ・指導職及び先輩職員がマニュアルに沿ったOJTを行う
	職員満足度の向上	【意見を出し合える風土づくり】 ・役職、勤務年数にかかわらず、良い提案、実践を積極的に評価する 【チームケアの推進】 ・チーム力向上を図るため業務の平準化、マニュアルの改訂を行う
人事労務管理	各種規則の周知	【就業規則等の理解】 ・年2回、周知を図るための研修を実施する
	環境整備	【不備個所の早期改善】 ・破損届の提出を徹底し、不備個所を早期に改善する ・毎日の整理整頓を実施する
	業務・役割の見直し	【適材適所】 ・フォロー体制を整え、より高い役割分担を行う
4. 事業活動に対する基本姿勢		
財務基盤の安定化	収入の増加	【稼働率】 ・目標稼働率 86 パーセント以上（1日 26/30 名以上）
		【新規利用者の開拓】 ・ドリームだよりの発行と配布を継続（内容の検討）する ・ケアマネージャーへ定期的な空き情報を提供する ・ケアマネージャー向けアンケートを実施する
		【利用中止者への対応】 ・入院者の情報を的確に把握し、再利用につなげる ・当日キャンセル者情報を適切に関係者と連携し把握する
	支出の抑制	【物品管理】 ・物品の在庫管理を実施し、過剰在庫を削減する 【光熱水費】 ・業務改善・コスト削減委員会を中心に全員で無駄をチェックし、適正使用を図る

<p>【重点項目】 ①利用者の尊厳を守るため、和寿園の理念及び介護支援専門員倫理綱領に基づき行動します。 ②市地域福祉課、地域包括支援センター、民生委員・児童委員との情報共有に努めます。 ③利用者ニーズに沿ったケアプランの作成と、ケース検討会に積極的に参加し資質の向上に努めます。</p>
--

	年度目標	具体的取り組み
1. 利用者に対する基本姿勢		
人権	理念の理解と実践	【理解】 ・利用者の人権を守り、本人らしい生き方をサポートする
		【研修】 ・人権、権利擁護の研修に参加する
サービスの質的向上	ケアマネジメント力の向上	【資質向上】 ・サービス担当者会議を適時開催し、利用者本位のケアプラン作成に努める
		【研修参加】 ・「*この指と～まれ」等の事例検討研修に積極的に参加する ・相談援助技術や医療連携等の研修に参加する
	多職種間の連携の強化	【職種間の協働】 ・チームとして行動ができるように、地域包括支援センター、病院他事業所と連携を図る 【民生委員】 ・民生委員・児童委員との交流会に参加し、地域で抱えている困りごとを共有し、課題があれば地域連携会議等へ情報提供する
2. 社会に対する基本姿勢		
社会への貢献	地域貢献事業の支援	【困難事例への対応】 ・インフォーマルグループを含め近隣住民との協力体制を築き、社会資源の把握と社会資源開発の基盤づくりをする
		【地域人材の育成】 ・自治会等の学習会や講演に講師を派遣する ・介護職員初任者研修に講師を派遣する
3. 職員に対する基本姿勢		
人材育成	資質向上	【研修】 ・災害時ケアプラン作成において、ファシリテーター等の役割を担うとともに資質の向上に努める ・役割や経験年数に応じた研修に参加する

人事労務管理	働きやすい環境の整備	【ストレス軽減】 <ul style="list-style-type: none"> ・メンタルヘルスケアによる、バーンアウトの予防に努める ・お互いに言葉がけを行い、相談しやすい環境作りをする
		【業務効率化】 <ul style="list-style-type: none"> ・プラン課会議で週間スケジュールを調整し、効率化を図る
4. 事業活動に対する基本姿勢		
財務基盤の安定化	安定した収益の確保	【連携】 <ul style="list-style-type: none"> ・月間目標件数105名 ・地域包括支援センター、病院等を定期的に訪問する ・困難事例を積極的に受ける
		【加算の算定】 <ul style="list-style-type: none"> ・算定可能な加算の請求もれをなくす ・積極的に認定調査等に取り組む
		【経費】 <ul style="list-style-type: none"> ・燃料を節約するために、訪問ルート調整を行うとともに、申請書類等の提出は声をかけ合い一括して行う ・減算対策の徹底を図る

* この指と〜まれ…篠山市が主催し、ケアマネジャーや医師、薬剤師等他職種が集まり講習会や事例検討会を行っている。年3～4回開催されている。

<p>【重点項目】</p> <p>① 安全面、衛生面の管理を徹底し、安心安全な食事の提供に努めます。</p> <p>② 利用者様に喜んでもらえるよう適温での食事提供に努めます。</p> <p>③ 地域貢献事業へ積極的に参加します。</p>
--

	年度目標	具体的取り組み
1. 利用者に対する基本姿勢		
人権	理念に基づいた業務の実施	<p>【意識付け】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・業務改善を行う場合は、理念に沿ったものになっているか問いかけを行う
サービスの質的向上	食事提供サービスの向上	<p>【食事内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者の体調に合わせて食事内容の変更を行う ・経年劣化による食器の汚れが酷いものの入れ替えを行い、視覚への満足をアップする
		<p>【栄養ケアプランに沿ったサービスの提供】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・栄養ケアに沿った食事内容の提供ができているか確認をする ・医務会議・グループ会議で情報共有を図る
		<p>【調理技術の向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・選択メニューを増やし自施設調理の機会を増やす ・適温での食事提供を行うために、料理によって提供方法を検討する
	安全管理の徹底	<p>【異物混入事故の防止】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調理場及び機材の保守メンテナンスを行う
<p>【感染防止】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・栄養課会議で感染マニュアルの周知を図る ・大量調理マニュアルに基づく衛生マニュアルの勉強会を開催する ・栄養課会議で定期的に安全衛生の勉強会を行う 		
業務及び環境の改善		<p>【防災】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・備蓄・非常食の在庫管理を行う（ローリングストック） ・避難訓練等を活用し、介護職員に非常食の取り扱い方法やマニュアルの指導を行う
		<p>【業務改善】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発注などの事務作業の見直しを行う ・検品、調理、片付け等の見直しを行う <p>【環境改善】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・半期に一度、会議内で環境改善について話し合う機会を設ける

2. 社会に対する基本姿勢		
社会への貢献	地域貢献事業への協力	【食事サービス】 ・ 昼食・夕食の配食サービスの実施
		【地域人材育成】 ・ 介護職員初任者研修へ講師を派遣する ・ 自治会等に栄養指導等の講師を派遣する
		【地域交流】 ・ 地域のボランティア活動に参加する ・ 地域のイベントに調理器材の貸し出しを行う
3. 職員に対する基本姿勢		
人材育成	調理師の育成	【調理師免許の取得】 ・ 受講情報を提供する ・ 受講しやすい勤務調整を行う
	新入職者の育成	【入職者の育成】 ・ 育成マニュアルを作成する ・ 指導担当者の勉強会を開催する
人事労務管理	職員の定着	【モチベーション向上】 ・ イベントでの企画を担わせる ・ 提案や意見等を発表できる場を設ける
		【負担軽減】 ・ 特定の人に負担がかからないようするため、随時業務内容の検討と見直しを行う
4. 事業活動に対する基本姿勢		
財務基盤の安定化	経費削減の強化	【食品ロス】 ・ 適時発注数の変更を行い提供数との差を減らす ・ 納入業者への発注品や発注方法を定期的に見直す
		【水道光熱費】 ・ コスト削減委員会を中心に使用状況のチェックを行う
		【意識改革】 ・ コスト削減の提案を定期的募る

<p>【重点項目】</p> <p>① 丁寧な言葉使いと対応を心がけ、信頼関係の構築に努めます。</p> <p>② 入居者間のトラブルや相談事に対し、職員全員が適切に対処できるよう資質の向上に努めます。</p> <p>③ 生活状況の変化に対応できるよう、ご家族、医療、サービス事業者等との連携を図ります。</p> <p>④ 閉じこもり、孤立を防止するため、館内における団欒の場作りを行います。</p>
--

	年度目標	具体的取り組み
1. 利用者に対する基本姿勢		
人権	理念に基づいたサービスの提供	<p>【意識付け】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・理念に基づいた行動ができていないか常に意識して実践する ・人権、身体拘束、虐待防止、接遇マナー等に関する外部・内部の研修会に参加し自身の行動を振り返る
サービスの質的向上	安心・安全な生活の支援	<p>【健康管理】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緊急時に適切な対応ができるよう、マニュアルの見直しと研修を実施する ・感染予防と蔓延防止の取り組みを行う
		<p>【状況把握と適切な支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入居者の状況把握に努め、個々の生活ニーズに合わせた対応を行う ・統一したサービスの提供ができるよう、職員間で情報を共有する ・丁寧な対応により、信頼関係を構築する ・必要に応じ、環境整備やメンテナンスを行う
	団欒の場作り	<p>【防災】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年2回、他部署との合同訓練を実施する
	<p>【レクリエーション・行事】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入居者同士の交流機会が増えるような企画を検討する ・季節の行事を計画し、入居者の参加を募る ・養護、特養、デイの行事への参加受入れを促す <p>【ボランティアの受け入れ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・積極的にボランティアの受け入れを行い、日常生活の活性化に努める 	
2. 社会に対する基本姿勢		
社会への貢献	地域や関係機関等との連携と協働	<p>【説明責任の徹底】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・契約時や問い合わせ時に丁寧な説明を行う ・地域の民生委員等の参画を得て、年2回の運営懇談会を実施し、入居者の意見を聴取する機会を設ける
		<p>【低所得者への援助】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・低所得者に対する家賃、共益費、基本サービス費の減免を継続実施する

		【情報提供】 ・必要に応じ、地域、関係機関との連携を図る
3. 職員に対する基本姿勢		
人材育成	介護技術の向上	【研修】 ・月1回ふれしあ会議内で計画的に研修を実施する ・施設内外の介護技術向上研修会に参加する
	ストレスの軽減	【ストレスチェック】 ・メンタルヘルス研修に参加し、ストレス解消法について学ぶ ・悩みや困りごとの相談ができる環境を作る
人事労務管理	職場環境の改善	【会議】 ・ふれしあ会議等において職員同士の意見交換を活発に行う
		【業務】 ・業務の見直しや工夫により、仕事の負担軽減や効率化を図る
		【モチベーション】 ・適切に年休を取得し、心身のリフレッシュを図る ・担当や役割遂行により、達成感が持てるようにする
4. 事業活動に対する基本姿勢		
財務基盤の安定化	高稼働率の維持	【広報活動】 ・空室状況をホームページに載せ、入居者の募集を行う ・ケアマネジャー、ソーシャルワーカー等へ情報提供する ・市役所や地域包括支援センター、にしき記念病院等にパンフレットを置かせてもらうよう依頼する
	コスト削減	【水道光熱費】 ・ムダをなくし、適切な使用方法を検討する ・エアコン等の管理が難しい入居者に対し、支援を行う 【物品】 ・物品の管理、整理整頓に努める ・人為的なミスによる修繕等を発生させないようにする